

名前 _____

理科

基本メニュー (☆☆☆) …必ずやりましょう。

	チェック
① 授業用テキストを読み直す (太字になっている部分は書いて覚えるとよい)	
② 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	
③ 週テストの見直し (間違えた問題の見直し)	

応用メニュー (☆☆) …基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題を解く	

担当より一言

第13回は「水の状態変化」について学びました。

水は100℃で沸騰すること、0℃で氷へと変化をすることは必ず整理しておきましょう。

水が蒸発しやすい条件は、気温が高い、湿度が低い、風が強い、この3点が大切です。日常生活に結びつけて考えていきましょう。例えば、洗濯物が乾きやすいのは晴れの日と雨の日どちらかは分かると思います。気温が高いことや湿度が低いことを、乾きやすさに結び付けることができると思います。日常生活からヒントをもらい、条件をただ暗記するのではなく、考えて導き出せるようにしましょう。

もちろん覚えなくてはならない部分もあります。水が氷になるとおよそ体積は1.1倍、水が水蒸気になるとおよそ体積は1600倍になります。この数字は覚えましょう。

社会

基本メニュー（☆☆☆）…必ずやりましょう。

	チェック
① 授業用テキストを読み、基本問題を解く前に少しでも覚える	
② 宿題用テキストの書き込み教科書に取り組む	
③ 宿題用テキストの基本問題A・Bを解く	
④ 週テストの見直し（間違えた問題の見直し）	

応用メニュー（☆☆）…基本メニューが全て終わって、余裕があればやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの練習問題A・Bを解く	

発展メニュー（☆）…チャレンジしたい人はやりましょう。

	チェック
① 宿題用テキストの発展問題を解く	

担当より一言

今回から、地方別の都道府県シリーズがはじまりました。
引き続き、学習習慣をつけることを目標としつつ、今後は週テストやG模試などのテストの得点にもこだわっていけるように声かけをしていきます。

今回から、覚えるべき内容がかなり多くなります。いきなり宿題に取り組むのではなく、その前にテキストを読み、まず書き込み教科書に取り組みましょう。

基本的に、書き込み教科書は何も見ないでやってください。できるところをすべて埋めたうえで、授業用のテキストで確認しましょう。このとき、できたもの・できなかったものを、色などで分けることをお勧めします。あとでの振り返りに役立ちます。なお、ひらがなで書いたものは、できなかったものとし、正しい漢字で書き直してください。

もし社会が得意とは言えない場合は、授業用テキストを一通り読んだ後、授業用テキストを見ながら空欄を埋める形でも構いません。まずここで授業の内容を思い出し、基本問題のAとBにつなげましょう。ただし、空欄を埋めるときは必ず漢字で書き、その場でできるだけ覚えるようにすることが大切です。

基本問題A・Bは、間違えた問題にチェック印を入れながら、何も見ないで繰り返し行いましょう。また、基本問題Bは、漢字で書くことにこだわってください。大変ですが、ここでしっかり覚えれば来年、社会を得点源にしやすくなります。がんばりましょう。

さて、今回は「北海道・東北地方」について学びました。

授業では、写真などを参考にしながら、白地図にさまざま書きこみましたね。授業や家庭学習では、どの都道府県でどのようなことがさかんなのかに着目し、都道府県名を聞いたら、すぐに2~3個の用語が出てくることを目標にしましょう。

授業では新しいことばかりではなく、これまでの授業で学んだことも多く出てきます。また、生活の中で見聞きしたことも出てくるでしょう。知らないこととして受け身にならず、旅行で行ったことがある、インターネットで見たことがある、本で読んだことがあるなど、自分でも知っていることがないかを思い起こしながら授業に参加してほしいと思います。